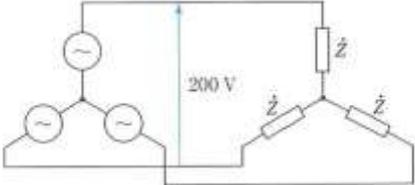


# 学 習 指 導 案

日時	令和3年 月 日( ) 第1限	指導クラス	電子科2年 組	指導者	〇〇 〇〇
教科(科目)	工業(電気基礎)	単元名	第6章 三相交流		
教科書	電気基礎 下(コロナ社)	副教材	電気基礎(下)トレーニングノート		
本時の主題	第6章 三相交流 6.1 三相交流回路 Y-Y結線の電圧と電流				
本時の目標	三相交流回路(Y-Y結線)の電圧と電流の関係を理解し、各種電圧や電流の計算をすることができる。				
学習活動に即した評価規準	知識・技能(A)	思考・判断・表現(B)	主体的に学習に取り組む態度(C)		
	三相交流回路の公式を活用し、計算をすることができる。		三相交流回路に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。		
時間	ねらい	学 習 活 動 (・教師の活動 ○生徒の活動)		評価規準	評価方法
【導入】  10分	前時の復習  本時の目標を確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に学習した範囲を投影し、説明する。</li> <li>・本時の目標を板書する。</li> <li>○本時の目標をノートに記入する。</li> </ul>		C	ノート
【展開】  35分	例題2 (P54)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例題2を細かく分け、生徒に提示をする。</li> </ul>		C	学習活動の行動観察
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>例題 2</b></p> <p>図6.13の回路において、線間電圧が200Vで、負荷の各相のインピーダンスが <math>Z = 16 + j12</math> [Ω] であるとき、相電圧と相電流の大きさを求め、ベクトル図を描きなさい。</p>  </div>		A	ノート	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>短い時間に分けて1つずつ問題に取り組む。 上記例題の場合は次のように行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶相電圧を求める</li> <li>▶インピーダンスの大きさを求める</li> <li>▶位相差φを求める</li> <li>▶相電流を求める</li> </ul> </div>			
	問3、問4 (P55)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問の一つずつを「考える」「教え合う」を繰り返す。 (「考える」2分、「教え合う」1分)</li> <li>・例題と同様に問題を細かく分け、生徒に提示</li> <li>○例題と同様に「考える」「教え合う」を繰り返す。</li> </ul>		C	学習活動の行動観察
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○例題と同様に「考える」「教え合う」を繰り返す。</li> </ul>		A	ノート
【まとめ】  5分	本時の確認  次回への発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>○隣同士、本時に学んだことを話し合う</li> <li>・本時学んだことが次にどう応用できるか説明</li> </ul>		C	学習活動の行動観察